

公益社団法人 地盤工学会  
 関東支部 10周年記念事業委員会  
 議 事 録

第2回

|                              |       |   |    |                  |   |    |      |   |
|------------------------------|-------|---|----|------------------|---|----|------|---|
| 日 時：平成26年1月15日（月）15：30～17：00 |       |   |    | 会 場：地盤工学会 3階小会議室 |   |    |      |   |
| リーダー幹事                       | 石井裕泰  | ○ | 委員 | 横山裕之             | ○ | 委員 | 田中洋輔 | ○ |
| 委員                           | 佐久間栄由 | ○ |    |                  |   |    |      |   |
| 事 務 局：青木                     |       |   |    |                  |   |    |      |   |

○：出席 ×：欠席

議事録作成：石井

**〔審議事項〕**

1. 準備状況

- ・ 会場手配（田中委員）：概要を確認。本日の打合せでイベント内容を具体化した上で、具体的な手配にあたる。
- ・ 記念品（佐久間委員）：県グループでの予算消化が当初に比べて進んだため、規模を縮小して考えている。予算面から携帯充電器は困難。現在のところ、砂遊びセット、防災セット各200個を見込む。
- ・ 展示パネル（石井）：発注依頼、入金を済ませ、明日、デザイン担当者と電話で打合せを予定。

2. 展示内容についての自由討議

2.1 実施形態

- ・ 日数が1週間で限定されるため、9:00～17:00で説明員をつける。
- ・ 興味を持ちそうな方には声をかけて、説明、アンケートを行う。
- ・ アンケートに答えていただいた方に、記念品を配布する。
- ・ アンケート回収数、パンフレットや資料の配布数を記録する。事後評価・分析に活用する。
- ・ 地盤工学会の紹介としては、書籍紹介の形がわかりやすい。単なる活動紹介にすると、相談窓口と誤解され、本部への問い合わせが増えるという実害にもつながりかねない。
- ・ 説明員は半日単位で交代して配置する。午前中は10周年事業委員が対応し、午後は総務・企画G等からの応援をあてがう。間の一時間ほどは引き継ぎを兼ねて、2名で対応する。
- ・ 運営委員会関係者等は、随時来ていただく。来場時には説明員が展示内容、状況を簡単に説明できるようにする。ご協力いただけるなら、一般の方へのお声かけもしていただく。

2.2 内容

(1) パネル以外の展示物

- ・ 液状化マップ（自治体等から使用許諾、スクリーンを作成）
- ・ 書籍サンプル、チラシ
- ・ 地盤工学会パンフレット

(2) 会員向け対応

- ・ 10周年の周知。来年度行事への参加の呼びかけ。
- ・ 来場のきっかけ、地盤工学会への希望等をアンケート。

(3) 一般向け対応

- ・ 「我が家の地盤は大丈夫ですか？」といった問いかけを受けることが想定される。液状化マップ等で、簡単に説明にあたる程度で対応したい。
- ・ 来場のきっかけ、地盤工学、地盤工学会の認知度等をアンケート。
- ・ 夏休み宿題のネタ、進路の一選択肢、防災関連の情報収集ソースとして、地盤工学、地盤工学会を紹介する。

2.3 周知・広報

- ・ 支部メーリングリストでの周知。
- ・ 学会誌3月号での会告掲載（1/24までに依頼できれば可能）

- ・ 新聞社への声掛け.
- ・ 法人会員への個別連絡.
- ・ 文京区をはじめとした区報への掲載.

### 3. 作業リスト

- ・ 説明員の指南書作成
- ・ 会員向け、一般向けの各アンケートの作成
- ・ 液状化マップのスクリーン作成
- ・ 周知・広報関連の対応

### 4. その他

- ・ 青木委員：3/11 は評議委員会で展示対応は不可.
- ・ 佐久間委員：3/10～11 は研究室旅行で展示対応は不可.
- ・ 1月下旬に総務・企画 G 会議を予定. 本日の打合せ内容とその後の対応状況を可能な範囲で報告する.

#### 〔次回開催日〕

展示に先立ちの開催する. メールにて調整する.

以上